

茨木市立西中学校

生徒会ニュース

第15号 2015年3月23日(月)



仲間にあありがとう



合理的、利己的な自分を

変えてくれた仲間・クラス

とも、たくさん友達がいでき、その人たちと接するなかで、
1人1人の違いというものを心から実感した。1年生の時は、
なかなか授業に集中できず、授業を抜け出してしまおう人の班の
班長だった。僕は、その人に全かで接した。すると、相手も気持ち
をわかってくれて、おとなしくしてくれた。そのことから、僕は全かで
他人と接するようになった。そうすることで、お友達も増え、中学校
での時間は楽しいものとなった。それが、僕の3年間の成長だ。

僕は将来、高校、大学を出て、研究者になりたいと思っている。
そして、必ず人の役に立つような研究をして、科学技術に貢献したい。
人の役に立つことが僕の夢です。

卒業した六十四期生のミーティング作文(抜粋)を紹介
します。「今までと違う自分になること」それは仲
間との関わり、それを通して自分と向き合うこと...
そういう日々の積み上げから生まれます。

となりの席の子のおかげで成長できた

私が1着に感謝している人は1年のときとなりの席だった人だ。その人のことで大
変なことも多かったけどその人のおかげで成長できた。その人がとなりにいた
から自分もがんばろう!と思えた。1年の自分があったから今の私はこんな
に成長できた。そんなこと本人には直接言う勇気はないけど本当に感謝している。

↑ この生徒は、授業集中が困難な班の子に1年の時からずっと関わり続けていまし
た。「しまろう」「しまあげる」という関係を超えたリーダーに成長しました。



KATA KUMI AERU NAKAMA GA IREBA...
SHINDOJI KOTO NO IERU NAKAMA GA IREBA...

日常・仲間・自治

3月 目標:〔仲間にありがとう〕

<p>校長先生のお話</p>	<h3>仲間に「ありがとう」と言えましたか</h3>
<p>本 部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 3月生活目標 「仲間ありがとう」 ミーティングで仲間への感謝、決意を伝えることができましたか 来年度は今のクラスを超えるいいクラスにしていきましょう。 ● 「新入生歓迎会」において <ul style="list-style-type: none"> ・新年度の生徒会活動のスタート ・生活規律や学年の取り組みを自分たちの力でつくっていく生徒会活動の意義を再確認するとともに、新入生にそれを伝える西中生の先輩としての自覚を持つ場
<p>学 級 委員会</p>	<p>1年 今の1年生は、全体的に見てとても仲が良いです。しかし、仲が良いすぎて授業中にも私語をしてしまい、勉強をする空気がつくれないときがあります。注 意しても聴いてくれないこともよくあります。注意するのが嫌になっても、私たちはその人に授業に参加してほしいという気持ちをその人にしっかりぶつけられるようにしていきます。クラスにも、仲間の気持ちを考えながらも自分の気持ちを相手にしっかり伝えられるリーダーが増えてほしい。そうすれば、この学年は仲が良いだけでなく、ケジメもつけられるとても良い学年になると思う。なので、仲間のことを考えた声掛けがあふれる学年にしていきましょう。</p> <p>2年 クラスミーティングの作文を書く前に「ミナコ逃げるな」という話を通して仲間について考えました。その後、作文をよい雰囲気を書くことができました。ミーティング本番は作文の時間以上に緊張感があり、自分の本音を語り、仲間の声をしっかり聴くことができました。3年生になってもいろんなことを全員で取り組める学年を目指して頑張ります。</p>
<p>生徒指導の 先生より</p>	<p>◎「感謝」の気持ちを、自然に持つことができますか？</p> <p>▽「慣れに、慣れるな。」 以前、私が先輩からいただいた言葉を、みなさんに伝えます。</p> <p>★プリント「春休みを有意義にすごそう！」をしっかりと読み、「春休みの計画表」を活用して、充実した春休みを過ごし、新年度のよいスタートにつなげましょう。</p>